

平成30年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

中学1年 平成30年度重点目標	
項目1	①「学力向上に向けて」
	目 標
	達成方法
	①「わかば」や定期考査の学習を通じ、学習のスケジュール管理ができるように指導していく。ガイダンスや授業を通して、長期的スパンで自己研鑽に励むための学習法を考えさせる。各種小テストや補習などの取り組みを徹底的に行い、学力の定着化を進めていく。 ②授業内でタブレットを積極的に活用し、思考・意見発表の機会を積極的に設定する。スタディサプリの活用や朝学習の定着により、自ら学習する習慣の定着を図るようにしていく。 ③進路実現のため、主軸となる英語について英検4級の全員取得を目標とし、漢検・数検にも積極的に取り組ませる。
項目2	②「生きる力育成に向けて」
	目 標
	達成方法
	①基本的な生活習慣の基礎を身に着けるため、時間管理や礼儀にかなった作法を自主的にできるように育てる。 ②社会人に必要な生活の基本となる「7つのルール」について徹底的に取り組み、学力と人間力の繋がりを意識できるように指導していく。 ③多様性を尊重し、様々な文化、価値観を持つ人と協働できるマインドを涵養する。 ①挨拶や時間の管理など、共同生活の中でのみ身に着けられることをしっかりと指導していく。 ②ガイダンスや集会でメモを取ることを身体化させ「聞く」姿勢を身につけ、振り返りを行うことで意識づけをし、実践に繋げていく。 ③様々な価値観、環境の人と接し、他者との違いを受け入れられる力を養う。
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」
	目 標
	達成方法
	①学校評価を実施することにより、改善・改革と教育活動の向上を図っていく。 ②開かれた学校を目指し、情報公開を進めていく。 ①授業参観を学期ごとに実施し、教育活動の視覚化を進めていき、保護者からの意見を検討していく。 ②定期的な学校だより・学級通信・学年通信・進路部通信・生徒部通信等を通して、積極的に活動報告や情報公開をすすめていく。
中学2年 平成30年度重点目標	
項目1	①「学力向上に向けて」
	目 標
	達成方法
	「自ら学ぶ姿勢」を育成するため、学力の更なる向上、学習意欲の喚起を進め、今後の進路に向け、必要となる検定を取得させていく。 授業の受け方・メモの取り方」を身体化とさせるための授業の工夫を行う。また、小テストや補習体制を設定し、最後までしっかりと取り組ませる 進路実現及びグローバル化対応に必須である英語に重点を置き、教科と学年が連携しながら英語力向上を図る。目標として実用英語技能検定3級合格を目指す。 学習内容の定着をはかり、高校でのコース選択の幅を広げるためにも英検だけではなく、漢検や数検にも積極的に取り組ませていく。
項目2	②「生きる力育成に向けて」
	目 標
	達成方法
	「日常の五心」と「7つのルール」の徹底を通して、社会人として生活するための基本的な作法を身につける。 道徳教育、ピアサポート教育を通して自分および学校の一員としての誇りを持たせる。 基本的な生活習慣に関して徹底させる。 挨拶・時間厳守・整理整頓の基本的習慣を繰り返し指導していく。 中間学年としての自覚を持たせ、学年間のコミュニケーションだけでなく、上下の学年との関わりの中での振る舞いを意識し行動させる。 カリキュラムに積極的に参加し、繰り返しや振り返りをさせていくことで、豊かな心を養う。
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」
	目 標
	方達成
「開かれた学校」を目指すための情報発信を行う。 manabaを活用し、学年通信・学級通信・学年進路部通信などの発行を通して、学年やクラスの活動に関して情報発信を行っていく。	

平成30年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

中学3年 平成30年度重点目標							
項目1	①「学力向上に向けて」						
	<table border="1"> <tr> <td>目 標</td> <td>(1) グローバル人材育成の観点から、引き続き「自ら学ぶ姿勢」を持つための授業構成を構築し、2020年度の大学入試改革に向けた自己実現力を育成する。また、実践的英語力の獲得を目指し、英語4技能の向上のための取り組みを進めていく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 生徒1人1人の進路実現や高校での科目選択に向けて、まずは「進路とは何か」という点に関して考えさせる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(3) 高校において必要なポートフォリオ作成に向けて、自己の意見を蓄積する習慣を身につけさせる。その中で、ICT機器の活用及び情報リテラシーの力をつけていく。</td> </tr> </table>	目 標	(1) グローバル人材育成の観点から、引き続き「自ら学ぶ姿勢」を持つための授業構成を構築し、2020年度の大学入試改革に向けた自己実現力を育成する。また、実践的英語力の獲得を目指し、英語4技能の向上のための取り組みを進めていく。		(2) 生徒1人1人の進路実現や高校での科目選択に向けて、まずは「進路とは何か」という点に関して考えさせる。		(3) 高校において必要なポートフォリオ作成に向けて、自己の意見を蓄積する習慣を身につけさせる。その中で、ICT機器の活用及び情報リテラシーの力をつけていく。
	目 標	(1) グローバル人材育成の観点から、引き続き「自ら学ぶ姿勢」を持つための授業構成を構築し、2020年度の大学入試改革に向けた自己実現力を育成する。また、実践的英語力の獲得を目指し、英語4技能の向上のための取り組みを進めていく。					
	(2) 生徒1人1人の進路実現や高校での科目選択に向けて、まずは「進路とは何か」という点に関して考えさせる。						
	(3) 高校において必要なポートフォリオ作成に向けて、自己の意見を蓄積する習慣を身につけさせる。その中で、ICT機器の活用及び情報リテラシーの力をつけていく。						
達成方法	(1) 「妻中サクセス」としての授業の受け方を継続しながらも、探求型学習やアクティブラーニング型学習を授業の中に取り込んでいく。また、知識習得を自ら行えるように、スタディサプリを用いたe-learning、個別学習などの指導も行っていく。実践的英語力の獲得に向けて、検定試験の受験の推奨を継続する。また、スタディサプリEnglishなどのコンテンツや、妻中タイムなどの取り組みを通して英語力の向上を図る。 (2) LHRにおいて職業適性試験を行うとともに、身近な人へのヒアリングや職場体験などを通して、進路について広い視野を持つ機会を用意する。その中で、自分の進路について改めて考えることにより、学習へのモチベーションを上げることにつなげていく。 (3) 大学入学における志望理由書の作成に向けて、高校1年からポートフォリオを蓄積していく必要がある。その準備段階として、自己の考えや活動内容をICT機器を活用しながら蓄積する練習を行う。その中で、いかに情報を整理し伝えるかという点についても意識させていく。						
項目2	②「生きる力育成に向けて」						
	<table border="1"> <tr> <td>目 標</td> <td>(1) 「7つのルール」に関して、意識しなくても徹底できる環境を作ることで、社会人として必要な生活の基本を自分のものとしてできるようにする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 道徳・特別活動・行事を通して自己肯定感を持てるようにし、それらの活動の中で最後までやり通す力を身につける。また、あらゆる機会協働作業を体験することにより、課題解決力を身につける。</td> </tr> </table>	目 標	(1) 「7つのルール」に関して、意識しなくても徹底できる環境を作ることで、社会人として必要な生活の基本を自分のものとしてできるようにする。		(2) 道徳・特別活動・行事を通して自己肯定感を持てるようにし、それらの活動の中で最後までやり通す力を身につける。また、あらゆる機会協働作業を体験することにより、課題解決力を身につける。		
	目 標	(1) 「7つのルール」に関して、意識しなくても徹底できる環境を作ることで、社会人として必要な生活の基本を自分のものとしてできるようにする。					
	(2) 道徳・特別活動・行事を通して自己肯定感を持てるようにし、それらの活動の中で最後までやり通す力を身につける。また、あらゆる機会協働作業を体験することにより、課題解決力を身につける。						
達成方法	(1) 7つのルールの中の大半はこの2年間で徹底できたと考えているので、ルールの中から重点的に課題を設定し、ガイダンスやクラスでの指導を通して身につけさせていく。 (2) 中学3年は平和学習旅行、職業体験、Global Arts Festival 文化の部・体育の部、合唱コンクールと、活動の機会が非常に多い。それらの活動に対してその意義を確認するとともに、前向きに取り組むことで成長できるように促していく。						
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」						
	<table border="1"> <tr> <td>目 標</td> <td>開かれた学校を目指すための情報発信を更に継続するとともに、保護者会・面談・学校評価アンケートの結果を今後もフィードバックしていく。</td> </tr> </table>	目 標	開かれた学校を目指すための情報発信を更に継続するとともに、保護者会・面談・学校評価アンケートの結果を今後もフィードバックしていく。				
	目 標	開かれた学校を目指すための情報発信を更に継続するとともに、保護者会・面談・学校評価アンケートの結果を今後もフィードバックしていく。					
方達成	2年間、学年通信・学級通信・進路部通信によって情報発信を進めるとともに、保護者会では学校評価アンケートの結果をもとにフィードバックを行ってきた。そのスタンスを今後も継続していくことで、情報発信を進めていく。						
高校1年 平成30年度重点目標							
項目1	①「学力向上に向けて」						
	<table border="1"> <tr> <td>目 標</td> <td>基礎学力の向上と毎日、学習する習慣を身につける。 自ら学ぶ姿勢を身につける。</td> </tr> </table>	目 標	基礎学力の向上と毎日、学習する習慣を身につける。 自ら学ぶ姿勢を身につける。				
	目 標	基礎学力の向上と毎日、学習する習慣を身につける。 自ら学ぶ姿勢を身につける。					
達成方法	・生徒が自ら学ぶ姿勢を育てるために色々な企画を用意し、学年全体で学力向上を目指す雰囲気確立する。 ・常に、前向きな思考で物事が捉えられるように、得意科目や個々の生徒の強みを伸ばせるように指導する。 ・全員に配布した能率手帳に、予定・学習時間とその内容・提出物の管理などを記録させることで、学習計画や時間の自己管理ができるようにする。 ・生徒が活動したこと・自ら学習したこと・振り返りなどを e-ポートフォリオに入力する習慣をつけさせるよう指導する。 ・高校1年時最初に高校3年の卒業式直前に提出する大学入学報告書を書かせることにより、今後の進路に関する問題点を明確化させる。						
項目2	②「生きる力育成に向けて」						
	<table border="1"> <tr> <td>目 標</td> <td>・基本的な生活習慣の確立 ・自ら課題を見つけ、自分で解決していく力を持つ。 ・自分の目標を持ち、それを達成するための行動力を持つ。</td> </tr> </table>	目 標	・基本的な生活習慣の確立 ・自ら課題を見つけ、自分で解決していく力を持つ。 ・自分の目標を持ち、それを達成するための行動力を持つ。				
	目 標	・基本的な生活習慣の確立 ・自ら課題を見つけ、自分で解決していく力を持つ。 ・自分の目標を持ち、それを達成するための行動力を持つ。					
達成方法	・基本的な生活習慣の確立の1つである時間管理(朝の妻中タイム登校)に関して特に注意して指導する。 ・自発的学習に向かう環境作りを行う。(様々なプログラム・放課後学習・夏期講習などを工夫する) ・授業や個人面談などを通じて、進路目標を持てるような指導する。 ・プレゼンテーション能力を養うよう指導する。 ・提出物などの期限は必ず守るように指導する。						
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」						
	<table border="1"> <tr> <td>目 標</td> <td>・保護者対象の進路ガイダンスの充実 ・学年通信や進路通信の充実</td> </tr> </table>	目 標	・保護者対象の進路ガイダンスの充実 ・学年通信や進路通信の充実				
	目 標	・保護者対象の進路ガイダンスの充実 ・学年通信や進路通信の充実					
達成方法	・大学入試情報や学年の進路指導状況、模試の結果などについて保護者に伝えていく。 ・2021年度新課程入試の情報に関しては、保護者ガイダンスやmanabaを通じてできるだけ早く情報が共有できるようにする。 ・脳の科学や心理学的エピソードを交えて、学習効率の上げ方を生徒に伝えていく。						

平成30年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

高校2年 平成30年度重点目標	
項目1	①「学力向上に向けて」
	目 標
	達成方法
	達成方法
項目2	②「生きる力育成に向けて」
	目 標
	達成方法
	達成方法
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」
	目 標
	達成方法
	達成方法
高校3年 平成30年度重点目標	
項目1	①「学力向上に向けて」
	目 標
	達成方法
	達成方法
項目2	②「生きる力育成に向けて」
	目 標
	達成方法
	達成方法
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」
	方達成